

大人気の◇◇

チャリティーバザー

第5回『南国市福祉展』

福祉の街づくりを進めよう
と、九月十九、二十日に社会福祉センターで今年も「南国市福祉展」が開かれ、主婦をはじめ、大勢の市民でにぎわいました。

これは、市と市社会福祉協議会が主催して、市民の連帯とボランティア意識を深めることによつて

福祉の風土をつくり出し、幸せな生活づくりを進めるために、毎年開催しているものです。

十九日の午前十時に小笠原喜郎市長と市社会福祉協議会の高橋増治会長がテープカットをして開幕。展示室には南海学園や清風園、土佐希望の家から出展されたブツ



各施設から出品された約千点の作品は好評

クエンドやマフラーなどの手作りの作品や、久礼田小、稲生小、日章小の児童が書いた書画などを展示。また、老人クラブの皆さんも手作りの手芸品などを出品、会場には約千点の作品が並びました。一部の作品は即売も行われ、会場を訪れた人たちは手に取ってながめていました。

そのほか、精神障害者授産施設「光の村」のパネル展や、身体障害者授産施設「小高坂更生センター」で作られた鴨子やチェストなどの木製品の販売、家庭の不要品などを持ち寄ったチャリティーバザーも行われました。チャリティーバザーには開催前から大勢の主婦が詰めかけるなど、「福祉展」は今年も大きな成果をあげました。



盛況だったチャリティーバザー

ぶどうジュースを試作

(十市農協園芸部)



ぶどうジュースの試作に取り組むぶどう部会の皆さん

十市農協園芸部では、来年販売を始める計画で、今ぶどうジュースを試作しています。今まで市場に出しにくいぶどうは菓子メーカーに卸したりしていましたが、円高の影響で輸入物に押され気味。そこで十市農協園芸部果樹研究会ぶどう部会では、そのようなぶどうに付加価値を付けようと、ぶどうジュースを作ることを計画し、今年から試作に取り組んでいます。九月十二日にはキャンベル二百、ワタ使用二百本(一本七百cc)のジュースを作りました。ジュースにした残りを利用してジャムも

作っています。このジュースの材料はぶどうと砂糖と酒石酸で、その他の添加物は一切入っていない健康食品。その上、味もなかなかのものです。園芸部では、十市小学校と十市保育所にジュースとジャムを持って行き、子供たちに試食してもらうことにしています。また、園芸部に行った人には味見もさせてくれます。※酒石酸はぶどうに含まれている酸で、ジュースに酸味を加えるために使われます。